



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2012～2013年度 RI会長 田中 作次
RIテーマ Peace Through Service 奉仕を通じて平和を

クラブテーマ「チ・カ・ラを出そう」会長 太田政人

副会長 山本良一 幹事 石井司人

第1116回 例会 2011.11.30(金)曇

司会:久保栄子君 指揮:小林勝君
ロータリーソング「それでこそロータリー」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

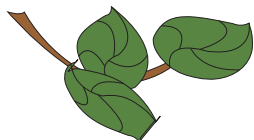
会長挨拶

会長 太田政人君

皆様こんにちは、会長に就任してから5か月経ちました、今年度の事業は計画通りに進捗しています、先々週は甲府での地区大会、先週はタイへの自転車贈呈式と慌ただしいことでした。



地区大会に出席お疲れ様でした、またタイへの自転車贈呈式にご参加お疲れ様でした、私は、仕事の都合でタイへは行くことができませんでしたので会長メッセージのみで失礼しました。地区大会とタイ自転車贈呈式の2つ掛け持ちで参加された石井幹事、山口国際奉仕委員長は大変お疲れ様でした。自転車贈呈の事業で今年度の事業は粗方終了した感がありますがこれからはこれら事業の成果の検証に取り掛からねばなりません。担当の委員会はよろしく願いいたします。地区大会についての報告は後ほどの卓話でお話いたしますので、簡単ですが、以上会長挨拶とさせていただきます。きます。



幹事報告

幹事 石井司人君

1. 例会变更

伊豆中央RC 12月18日(火) クリスマス家族会
三島RC 12月19日(水) 忘年家族会



スマイルボックス

山口雅弘君:タイ自転車贈呈式、皆様のお力により成功して帰ってまいりました。委員会報告で発表します。

山本良一君:タイ自転車事業はチェンマイの奥地ファーンでした。誰も迷うことなく全員生還しました。皆様のご支援ありがとうございました。

兼子悦三君:タイへの中古自転車事業、無事帰国しました。友好関係も一段と進みましたのでこれからは若い人の出番です。よろしく。前会員の保坂さん、当クラブの澤田さんにはめんどうかけました。ありがとうございました。

渡邊照芳君:タイ国より全員無事帰って来ました。山口国際奉仕委員長、ご苦労様でした。

大房正治君:タイの放置自転車の事業にキャンセルしてご迷惑をおかけしました。来月手術をいたします。長期休ませていただきます。

望月保延君:派遣社員の望月です。いつ首になるかビクビクしながら東北で静岡茶を売っています。意外に売れるんです。この所現地地に張り付いて営業をしています。例会欠席がちで大変失礼しています。

片野誠一君:タイの自転車贈呈式に出席された皆様、大変にご苦労様でした。

山本章君:自転車贈呈式に行かれた皆様、大変にご苦労様でした。

中村徹君:タイ放置自転車贈呈式に参加された山口雅弘さんはじめ会員の皆様、大変お疲れ様でした。私もいつか行ける日を楽しみにしています。

| 出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	26/35	74.29%	30/35	85.71%
今回	25/35	71.43%	会員総数	36名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

石井(和)君、内田君、遠藤君、小島君、杉山(隆)君、田中君、西原君、宮沢君、矢岸君、米山君

地区大会報告

会長 太田政人君

11月17日と18日、国際ロータリー第2620地区2012-2013年度地区大会が甲府ロータリークラブのホストで開催されました。せせらぎ三島RCからは、石井司人幹事、加藤正幸副幹事、土屋巧会員増強維持委員長、中村徹クラブ研修リーダー、宮澤正昭職業奉仕委員長、山口雅弘国際奉仕委員長、米山晴敏広報委員長そして新会員の代表として遠藤修弘さんと私以上9名で出席してまいりました。1日目の17日は「会長、幹事、地区委員長会議」のため私と石井幹事は渡邊脩助パストガバナー、稲葉ガバナー補佐、三島RC伊豆中央RC三島西RC長泉RCの会長幹事とマイクロバスにて三島を午前9時に出発11時過ぎには甲府に到着、会議までには少々時間がありましたので皆さんと昼食をとり「会長、幹事、地区委員長会議」に臨みました。会場は甲府富士屋ホテル、開会点鐘ガバナー挨拶に続き田中作治RI会長代理としてRI元理事で茶道裏千家前家元千玄室が挨拶されました。「会長、幹事、地区委員長会議」の主なプログラムは各種表彰、地区内分区分・クラブ活動報告、地区九委員会活動報告でした。せせらぎ三島RCは栄誉あるRI会長賞を戴きました、これは渡邊年度の業績に対するもので2620地区では8クラブが受賞しました。クラブ活動報告ではせせらぎ三島RCが長年取り組んできた青少年育成事業の文部科学大臣表彰を受けた職場体験、タイへの自転車贈呈、3年後の自分への手紙、大槌町への図書贈呈について説明しました。会議終了後はRI会長代理歓迎晩餐会、富士学苑中学・高等学校ジャズバンドの素晴らしいウエルカムステージで始まり、ガバナー挨拶RI会長代理挨拶RI理事挨拶甲州スパークリングワインにて乾杯地元で採れた食材を使ったおいしいコース料理を甲州ワインとともにおいしくいただきました。

翌18日早朝、7名が合流会場前で記念撮影した後本会議に臨みました、大会登録者総数1494名となりました本会議第1部は甲府富士屋ホテルにていつものように粛々と進行しました。千玄室氏が裏千家大宗匠として記念講演を行いました。89歳とはとても思えない感動的な素晴らしい講演でした。本会議第2部は常磐ホテルに移動、大会決議案上程・決議ガバナーエレクト紹介・挨拶次年度地区大会開催地発表などがあり閉会点鐘となりました。本会議終了後再び甲府富士屋ホテルに移動し今大会の目玉の大懇親会となりました。高野ガバナー肝いりの分区分自慢屋台も並び大変な盛況でした。第2分区分の屋台は「丹那盆地からの牛乳製品」石井幹事のお骨折りでした。

ご出席の皆様お疲れ様でした。・



委員会報告

国際奉仕委員会

山口雅弘君

タイ 放置自転車贈呈式典を終えて

今年度のタイ移転者贈呈式典も、滞りなく終了いたしました。

参加されたメンバーの皆様のご協力の感謝と、日本からご支援いただきました皆様に、ひとまず成功のご報告とお礼を申し上げます。また、スリウォンRC 塩谷会長からも、太田会長はじめ、皆様によろしくと、メールを頂きました。今年の会場はチェンマイからバスで片道3時間のファーンと言うところで、バンコクへの帰りの飛行機の時間から現地には2時間程しか滞在できませんでした。式典は、渡邊団長を中心に河口湖RC、大月RCのメンバーや柴田チェンマイ総領事も参加されスリウォンRCをはじめ、現地クラブの方たちと盛大に実施されました。また、今年度は式典前夜の総領事館での夕食会もあり、終了後のプールサイドから放った気球の灯りの美しさに感動いたしました。

10年を迎えた事業ですが、始めて参加させていただき、事業が長きにわたり続いている意味が分かったような気がします。8月から現地とメールや電話で準備をしてまいり



ましたが、ここに滞りなく終了し、全員無事に帰国でき、ホッとしております。

最後に、同行させていただきました、私の子供にまで何かとご配慮いただきました事に心より感謝申し上げます。



本日、バンコク・スリウォン・ロータリークラブ及び日本のせせらぎ三島ロータリークラブによりリサイクル自転車寄贈式に同席できましたことを大変嬉しくかつ名誉なことと存じております。

現在、タイでは、都市から遠く離れた地域における交通網の整備が重要な課題となっていますが、予算上の制約等もあり、残念ながら学生の通学を含む大衆交通網の整備が遅れている地域が多いのが現状です。その様な状況下、タイ及び日本のロータリアンの有志によりファーン地域に日本のリサイクル自転車が寄贈され、ファーンの学校にて学ぶ学生で、徒歩1時間以上かかる学生に対し優先的に無償配布されますことは、学生の通学手段確保の上からも極めて重要だと存じます。

私共、在チェンマイ総領事館ではタイ北部の9県を対象として、草の根人間の安全保障無償資金協力という我国のODAのスキームの下、様々な事業を支援させていただいております。その中には、山奥に住んでいて学校への通学が困難な少数民族の子供達への生徒寮の建設支援が入っており、私共総領事館も未来を担う子供達への教育を大変重要視しております。

今回の自転車の無償配布により多くの学生が、学校までの交通手段確保に毎日頭を悩ませることなく通学でき、勉強に専念でき、将来自立することが出来、ファーン、そしてタイ国における有為な人材となりますことを祈念しております。

また、自転車通学は、通学費用もかからず、学生の家族の家計に対しても良い影響があるものと考えます。

本年年頭、チェンマイ市内に幅広く立ち込めました灰色のヘーズ(モーク・クワン)には私自身大変驚きました。視界が遮られたばかりでなく、呼吸が苦しくなったことを憶えております。北部タイ地域の住民の健康を考えた場合、このモーク・クワンの問題は大変重要だと考えます。ヘイズの主な原因は山焼きであると仄聞しております。他方、車やオートバイの排気ガスもその一因だと考えます。人の力で動く自転車は環境に大変優しくかつ健康にも大変良い乗り物だと考えます。若い学生が自転車の素晴らしさを認識し、通学を含めて移動手段として、かつ、健康維持のためにも最大限に活用していただけますれば、日本人の一人としても大変嬉しく存じます。

今回の自転車寄贈事業を通じて、日タイ双方の関係者の交流が更に深まることをお祈りして私の挨拶とさせていただきます。



日泰ロータリークラブ

中古自転車寄付でコラボ

タイ社会福祉局「継続実施してほしい」

日本とタイのロータリークラブが中古自転車寄贈事業で協働。10月19日、バンコク都内のタイ社会福祉局で贈呈式が行われた。今回、380台の中古自転車を寄贈したのは、1930年創設とタイで最も歴史のあるバンコクロータリークラブ(カラヤ・リヤサラボン会長)および福岡を中心とした九州エリア(2700地区)で活動する複数のロータリークラブだ。両者が社会貢献事業でコラボするのは今回が初めて。バンコクスリウォンロータリークラブ(塩谷勝会長)がコーディネートした。バンコクスリウォンロータリークラブでは(財)自転車駐車場整備センターの協力の下、2002年から中古自転車寄



タイ社会福祉局で行われた中古自転車贈呈式

贈プロジェクトを推進。これまでに4万台を無償配布してきた。昨年の記録的大洪水の後遺症で一時的にストップしていたが、この日の贈呈式で塩谷会長は、「タイの子供たちにも喜んでもらっている。やりがいのある仕事だ。今年度は同様の贈呈を予定している。この事業を通じて日タイの友好関係をさらに深めたい」と挨拶。同会長によれば、スリウォンロータリークラブは三島ロータリークラブとタイ日本大使館を

代表して出席した。塩谷氏は、今回の事業では、タイ社会福祉局が中古自転車の輸入関税免除に尽力するなど、多くの善意が結集したと評価した。また、マナ・リアントン社会福祉事務局長は、プロジェクトが3年延長されることを歓迎する。私は中学卒業まで歩いて通学していたので、子どもの感動がわかる」として、さらなる延長を求めた。一方、2700地区の直方ロータリークラブの金子正人氏は、東日本大震災でのタイからの支援に対し謝意を示した。同氏は、ワールドコミュニティサービス(WCS)のメンバー。WCSは海外ボランティア事業統括組織で、2700地区ではタイのほか、フィリピン、ネパールを支援している。フィリピンで子どもたちのために井戸掘りとトイレ作りを推進。ネパールではこれまで小学校7校を建築した。バンコクでは昨年よりスリウォンロータリークラブの協力の下、図書、浄水器、自転車を寄贈している。金子氏は「少しでも私たちの力になりたい」と力を込めた。(倉林義仁記者)

